



北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰 受賞者一覧



第1回(平成19年度)		
団体部門	市長賞 ・医療法人財団 はまゆう会 王子病院 ・株式会社グリーン ・社会福祉法人 南風会 ヘルシーハイム ・株式会社三井ハイテック ・医療法人 寿芳会 芳野病院	奨励賞 ・北九州商工会議所 女性会
個人部門	市長賞 ・高橋 素子(三萩野病院)	奨励賞 ・緒方 有為子(福祉用具プラザ北九州)
第2回(平成20年度)		
団体部門	市長賞 ・医療法人 真鶴会 小倉第一病院 ・医療法人社団 新日鐵八幡記念病院 ・株式会社安川電機 ・社会福祉法人 容風会 総合福祉施設 おきなノ杜 ・日本コンピュータ株式会社	奨励賞 ・社会福祉法人 西日本至福会
個人部門	市長賞 ・杉井 千春(株式会社安川電機)	奨励賞 ・本山 晴子(北九州ワーキングマザーネットワーク)
第3回(平成21年度)		
団体部門	市長賞 ・社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成会 ・株式会社新菱	奨励賞 ・コンダクト株式会社 ・株式会社不動産中央情報センター
個人部門	市長賞 ・籠田 淳子・修一夫妻(有限会社ゼムケンサービス)	
第4回(平成22年度)		
団体部門	市長賞 ・財団法人厚生年金事業振興団 九州厚生年金病院 ・社会福祉法人 敬寿会 美咲ヶ丘 ・富士通コミュニケーションサービス株式会社 北九州サポートセンター	
個人部門	市長賞 ・杉 信市(杉建築設計事務所)	奨励賞 ・松井 真理子(医療法人真鶴会 小倉第一病院)
第5回(平成23年度)		
団体部門	市長賞 ・有限会社ゼムケンサービス ・社会福祉法人 恩賜財団済生会 福岡県済生会八幡総合病院	奨励賞 ・社会福祉法人 北九州あゆみの会
個人部門	奨励賞 ・荒木 晴美(TOTO株式会社) ・川原 英明(北九州農業協同組合)	
第6回(平成24年度)		
団体部門	市長賞 ・株式会社ソルネット ・株式会社陽和	奨励賞 ・株式会社ゴトウ ・時計・宝石・めがねのヨシダ
個人部門	市長賞 ・伊藤 初江(新日鐵住金エンジニアリング株式会社) ・杉井 隆造(株式会社安川電機)	奨励賞 ・有馬 広海(社会福祉法人恩賜財団済生会 福岡県済生会八幡総合病院) ・南 充子(北九州ヘルパーステーション) ・元重 香代(住宅設備施工会社)
第7回(平成25年度)		
団体部門	市長賞 ・みずほ証券株式会社 北九州支店	奨励賞 ・山九株式会社 プラント事業部 ・学校法人清悠学園 清和幼稚園 ・株式会社不動産のデパートひろた
個人部門	奨励賞 ・郷田 郁子(株式会社ヴィンテージ)	
第8回(平成26年度)		
団体部門	市長賞 ・社会福祉法人 龍玉会 洗心保育園	奨励賞 ・社会福祉法人 もやい聖友会 ・株式会社 北九州銀行
個人部門	奨励賞 ・森 豪(食品等卸会社) ・篠原 艶子(大門薬品)	

リサイクル適性(A) 北九州市印刷物リサイクル推進協議会15070270号
この印刷物は、印刷物の解へリサイクルできます。

第9回 北九州市 ワーク・ライフ・バランス表彰

Kitakyushu city work-life balance award 2015



二者択一はもう終わり
ワークとライフ、どちらも自分!



平成27年度
北九州市 総務企画局





ワーク・ライフ・バランスは、人生に彩りと豊かさをもたらします。

やりがいや充実感を感じながら働き、子育てや介護、そんな調和の取れた生活を推進・実践してい

自己啓発の時間、地域との関わりも持てる。そんな調和の取れた生活を推進・実践している企業・団体や個人を表彰しました。



企業・団体部門

市長賞

株式会社ウキシロケアセンター

□ 代表取締役 浮城 守 □ 業種/介護福祉事業
□ 所在地/戸畑区牧山2-3-5 □ 従業員数/212人(うち女性155人)

表彰理由

WLBプロジェクトチームを立ち上げ、トップメッセージを社内に浸透し組織風土を統一



統括マネージャーと現場の女性リーダーで構成されるワーク・ライフ・バランスプロジェクトチームを立ち上げ、「将来に夢を持つ企業を創る」ことを目的に、ワーク・ライフ・バランスの取組を強化。トップメッセージとして「ワーク・ライフ・バランス推進方針」を策定し、各事業所の管理職を中心に勉強会を実施することで社内への浸透を図った。また、現場の意見を把握するため、社員アンケートを実施するなど、ボトムアップの仕組みづくりを構築。一つの事業所の成功事例を他の事業所でも共有することで、全事業所の意識・風土が統一された。また、子育て社員の両立支援として子連れ出勤を認めるなど、きめ細かな対応も実施。女性管理職の増加、離職率の減少などにつながっている。

特徴的な取り組み

- 「ワーク・ライフ・バランスプロジェクトチーム」の立ち上げ
- 「ワーク・ライフ・バランス推進方針」の策定・周知
- 各事業所における勉強会の実施



統括マネージャーと現場の女性リーダーで構成されるワーク・ライフ・バランスプロジェクトチームの会議の様子。

企業・団体部門

奨励賞

株式会社スターフライヤー

□ 代表取締役社長執行役員/松石 碩己 □ 業種/航空・運輸
□ 所在地/小倉南区空港北町6 □ 従業員数/621人(うち女性275人)

表彰理由

トップと社員とのダイレクトコミュニケーションにより“働く安心感”を創出



社長就任と同時に社長室を廃止。今年度は社長デスクを1ヶ月ごとに各部署に移動させて、社員と直接対話できる職場環境を創出。また、育児休業から復帰した社員とのランチ会「ワーキングマザーミーティング」に社長自身が参加し、両立の悩みの声に耳を傾けるとともに、打開策を検討。客室乗務員(CA)業務は宿泊を伴うため、子育てとの両立が難しかったが、「CAとしてのキャリアを継続したい」との要望をもとに、宿泊しなくてもCA勤務を続けられる新制度を作るなど、働く安心感が広がっている。風土改革の効果は女性だけでなく、男性パイロットの育児休業取得も徐々に進んでいる。全社的に制度と風土の両輪がうまく回り始めており、社員満足度も改善が図られている。

特徴的な取り組み

- 客室乗務員やランドスタッフ等の契約社員を正社員化
- 月一回、社長と育児休業復帰社員との「ワーキングマザーミーティング」を開催
- 「部分就労客室乗務員制度」を導入、地上職育児時短勤務等の期間を拡大



育児休業から復帰した社員とのランチ会「ワーキングマザーミーティング」の様子。

企業・団体部門

奨励賞

三菱化学株式会社 黒崎事業所

□ 執行役員事業所長/小林 英信 □ 業種/総合化学
□ 所在地/八幡西区黒崎城石1-1 □ 従業員数/1,049人(うち女性102人)

表彰理由

会社の“ありがたい姿”“あるべき姿”を目指し、トップの想いを現場が実践



早くから本社のトップが女性活躍及びダイバーシティ推進を宣言し、それを具体的に現場に落とし込むため、黒崎事業所として独自の取組を展開。様々な部署の女性社員で構成される「KAITEKIワーク・ライフ分科会」を立ち上げ、社内サイトの運営、研修会・講演会の開催、社内広報誌「ひまわり通信」の発行等を実施。また意識改革だけでなく、分科会で社員アンケートやヒアリングを行い、その結果をもとに会社に女性活躍や次世代育成に関する提言を行った。現在、提言内容への取組みのため、ダイバーシティ推進部門を置き、各施策を推進中。また、「女性活躍」という枠組みを越え、「ダイバーシティ推進」として、分科会メンバーに男性社員を加え、創意、活動を継続している。

特徴的な取り組み

- 社長及び事業所長メッセージを発信して事業所一丸となった取組を推進
- 「KAITEKIワーク・ライフ分科会」を立ち上げ、社内での情報発信、研修会等の実施、会社への提言を実施
- 分科会提言の実現及びダイバーシティ推進のための体制整備(ダイバーシティ推進部門)



様々な部署の女性社員で構成される「KAITEKIワーク・ライフ分科会」による研修会の様子。

個人部門

市長賞

梯 輝元

□ 職業者/不動産業
□ 所属/中屋不動産株式会社

表彰理由

モノづくりのまちを担う次世代のライフとキャリアを応援する商店街のイクボス



小倉北区の魚町商店街で、50年にわたって不動産業を営む。自社ビルをリノベーションし、ワーキングマザーや若手起業家が出店しやすいような工夫をすることで、空きビル化が進んでいた施設にテナントが進出し、まちの活性化を創出。また、授乳室などの子育て施設を併設することで子育て支援にもつながっている。社内では、出産を理由にデザイン会社を退職したワーキングマザーを採用し、勤務時間に配慮しながらも、前職のスキルや子育て経験を活かせる業務を割り当て、キャリア形成を支援している。

特徴的な取り組み

- おむつ替え、授乳室を完備したインキュベーション施設をオープンし、若手世代や子育て世帯を応援
- リノベーションにより、ワーキングマザーや若手起業家をバックアップ
- 子育て中の社員へ、仕事と子育ての両立を配慮するとともにキャリア形成を支援



リノベーションした自社ビルに入居する人たち。

(敬称略)

仕事と生活の調和の実現は、一人ひとりが望む生き方ができる社会の実現にとって必要 不可欠です。

事業の趣旨

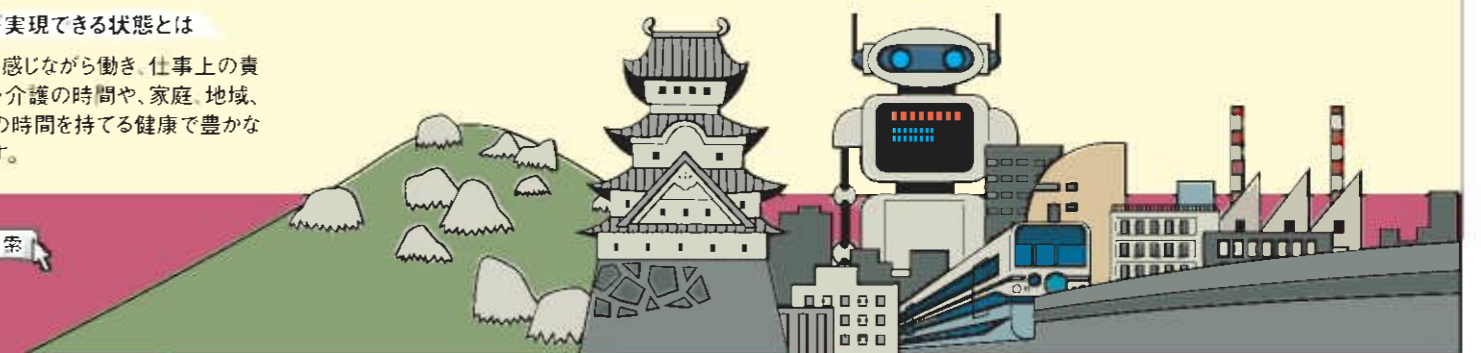
少子高齢社会において、子どもを産み育て、男女がともに働く喜びを感じることができる社会の実現は、企業、働く人、市民、行政が協働して取り組むべき重要な課題です。そこで、子育て支援や男女がともに働きやすい環境づくりなど、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業・団体・個人を表彰し、その取組内容を広く皆様に情報提供します。

ワーク・ライフ・バランスが実現できない状態とは

仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや介護との両立に悩む、など仕事と生活の間で問題を抱えている状態のことです。

ワーク・ライフ・バランスが実現できる状態とは

誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持つ健康で豊かな生活ができる状態のことです。





仕事と生活の調和の実現は、
一人ひとりが望む生き方ができる社会の実現にとって必要不可欠です。



事業の趣旨

少子高齢社会において、子どもを産み育て、男女がともに働く喜びを感じることができる社会の実現は、企業、働く人、市民、行政が協働して取り組むべき重要な課題です。そこで、子育て支援や男女がともに働きやすい環境づくりなど、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業・団体、個人を表彰し、その取組内容を広く皆様に情報提供します。



ワーク・ライフ・バランスが実現できない状態とは

仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや介護との両立に悩む、など仕事と生活の間で問題を抱えている状態のことです。

ワーク・ライフ・バランスが実現できる状態とは

誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭・地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができる状態のことです。

北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰 受賞者一覧

第1回 平成19年度	団体部門	市長賞	医療法人新田 はまゆう会 新王子病院
			株式会社グリーン
			社会福祉法人 南池会 ヘルシーハイム
			株式会社三井ハイテック
個人部門	奨励賞	医療法人 寿芳会 若野病院	
		北九州商工会議所 女性会	
個人部門	市長賞	高橋 素子(三森野病院)	
		奨励賞 緒方 有希子(福祉用具プラザ北九州)	

第5回 平成23年度	団体部門	市長賞	有限会社ゼムケンサービス
			社会福祉法人 豊原財団済生会 済生会八幡総合病院
個人部門	奨励賞	社会福祉法人 北九州あゆみの会	
		荒木 晴美(TOTO株式会社)	
個人部門	奨励賞	川原 英明(北九州農業協同組合)	

第6回 平成24年度	団体部門	市長賞	株式会社ソレネット
			株式会社湯畑
			株式会社ゴトウ
			時計 宝石・めがねのヨシダ
個人部門	市長賞	伊藤 初江(新日鉄住金エンジニアリング株式会社)	
		杉井 隆浩(株式会社安川電機)	
個人部門	奨励賞	有馬 広海(済生会八幡総合病院)	
		南 祐子(北九州ヘルパーステーション)	
個人部門	奨励賞	元重 香代(住宅設備施工会社)	

第7回 平成25年度	団体部門	市長賞	みずほ証券株式会社 北九州支店
			山九株式会社 プラント事業部
個人部門	市長賞	学校法人清原学園 清和幼稚園	
		株式会社不動産のデパートひろた	
個人部門	市長賞	郷田 裕子(株式会社フインテージ)	

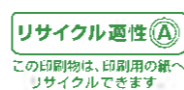
第8回 平成26年度	団体部門	市長賞	社会福祉法人 龍玉会 洗心保育園
			社会福祉法人 もやい聖友会
個人部門	市長賞	株式会社 北九州銀行	
		森 壽(食品等卸会社)	
個人部門	市長賞	篠原 勲子(大門薬品)	

第9回 平成27年度	団体部門	市長賞	株式会社ウキシロケアセンター
			株式会社スターフライヤー
個人部門	市長賞	三花化学株式会社 黒崎事業所	
		藤 暲元(中層興産株式会社)	

北九州市 総務局女性の輝く社会推進室
女性活躍推進課

TEL 093-582-2209 〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1

北九州市WLB表彰



北九州市印刷物登録番号16070210号

第10回 北九州市
ワーク・ライフ・バランス表彰

Kitakyushu city work-life balance award 2016



仕事と生活、誰もが
「こうありたい!」を実現できる社会へ

平成28年度
北九州市 総務局
女性の輝く社会推進室



ワーク・ライフ・バランスは、仕事と生活に、よりいっそうの生きがいと喜びをもたらします。

やりがいや充実感を感じながら働き、子育てや介護、自己啓発の時間、地域との関わりも 持てる。そんな調和の取れた生活を推進・実践している企業・団体や個人を表彰しました。



セレーノ株式会社

代表取締役/宮 大輔
業種/美容業
所在地/小倉北区織造町1-9-5
従業員数/13人(うち女性12人)



表彰理由
ライフステージにあわせたキャリアの活かし方など美容業界に新しい働き方を提唱

「人生の転機(結婚・出産等)に左右されず、技能とキャリアが継続できる美容室の創造」を理念に掲げ、美容業界における常識を打破した新しい働き方を実践。また、全従業員に損益計算書の見方を研修したり、人への負荷を減らし業務効率を上げるための店舗レイアウト(IE的手法)を採用したりするなど、科学的な分析を行い、現場作業の課題やムダを見える化しながら社員1人ひとりの生産性向上を図っている。すべては経営ビジョンである『より多くのスタッフに幸せを、より多くのお客さまに満足』を実現するため、従業員一体となって取り組みを加速させながら、離職率の低下、売上げ・顧客数の増加など成果を上げている。

【特徴的な取組み】
●営業時間を女性が働きやすい勤務時間(8:30から17:00まで)に設定
●ミーティングや技術トレーニングも勤務時間内に実施
●希望する働き方を年4回の面談で確認(変更)するとともに従業員間で共有



日本鉄塔工業株式会社 若松工場

取締役工場長/磯部 文孝
業種/製造業・建設業
所在地/若松区北浜1-7-1
従業員数/170人(うち女性30人)



表彰理由
若松発!トップや本社も巻き込み推進体制を社内に浸透!ケンセツ女子も活躍中!

本社のトップを巻き込んだ「ワーク・ライフ・バランス推進チーム」を結成し、社員から集約した意見の中、実現可能なものは経営陣に上申するという推進体制を確立。透明性のある人事評価制度や育成に対する管理職の意識変化など、性差のない参用(女性の活躍推進)風土が醸成されている。また、経営陣との交流機会をもつ「男女若年者報告会」を実施し、早期キャリア支援に取り組む一方、技術伝承の担い手として再雇用の従業員(70代)も活躍しているなど、世代を越えて社員の働きやすい雰囲気が根付いている。社員が望み姿、と組織のあるべき姿、を一致させた推進となっており、着実にその成果を上げている。

【特徴的な取組み】
●WLB推進チーム発「短時間非正規からフルタイムの正規社員への登用」制度を導入・運用開始
●積極的な女性技術職の採用・育成
●業務効率化や時間短縮につながるツール(自動測定ソフト)の開発及び活用



計測検査株式会社

代表取締役/坂本 敏弘
業種/設備診断業
所在地/八幡西区陣原1-8-3
従業員数/121人(うち女性41人)



表彰理由
管理者の意識改革と現場の声を生かしお客様との協力で推進体制を確立

トップの後押しのもと、ワーク・ライフ・バランスを各部署の事業方針として掲げることで、社内の認識度を向上させ、管理者意識へも浸透させるなど、各々が主体的に取組みを実施する組織へと変化。業務の性質上、現場への長期出張も多く、お客様の都合に大きく左右される状況の中でも、社員のワーク・ライフ・バランスや健康維持を重要と考え、お客様協力のもと、長時間労働の改善をするなど、現場の声を大切に、管理職が中心となって対応する体制が構築されている。また有給休暇についても利用しやすい制度構築や高い年休取得率など、取得しやすい風土が醸成されている。

【特徴的な取組み】
●女性採用数の増加や職域拡大、管理職登用の推進
●出張先での社員の長時間労働について、お客様と協力し業務改善を実施
●年次有給休暇の半日、時間単位での取得など



株式会社 安川ロジステック

取締役社長/小岡 幸治
業種/貨物運送取扱・倉庫業
所在地/小倉北区米町1-1-21
従業員数/241人(うち女性64人)



表彰理由
働きやすい・働きがいのある会社を目指して性差なく能力を発揮し働き続けられる風土に変革

女性社員のキャリア形成や活躍推進を課題ととらえ、「ダイバーシティ(ワーク・ライフ・バランス及びポジティブ・アクション)」を社長方針として掲げ推進体制を確立。強力なトップメッセージを発信しながら、取組みを加速的に推進している。一方、部署や男女の垣根を越え、管理職を含む社内交流を目的とした「社内ワールドカフェ(YLカフェ)」などの啓発活動や管理者、女性向けなど対象者別の様々な研修を実施。多面的な取組みを通して、固定化した社内の空気感の脱却に努めるなど、社員の意識改革を図りながら、従来型の男性中心の風土の中から女性役職者の輩出に至り、社内における女性活躍に対する意識の変革に成功している。

【特徴的な取組み】
●社長を委員長に据えた「ダイバーシティ推進委員会」の設立
●トップによる全社員との対話集会の実施
●管理職、女性社員合同「ポジティブアクション研修」など多様な研修の実施による意識改革



大谷 竜也

職業等/小倉経済新聞編集長、
リトル・ママ北九州版編集長



表彰理由
「おんぶ取材」で地域を巻き込んだ子育てを体現!パパたちのロールモデル!

「地域や多世代を巻き込んだ子育て」というポリシーのもと子育てを実践。50歳にして始まった育児ライフは自身や妻の働き方に影響を与えただけにとまらない。育児と仕事の融合から生まれた、取材先に子どもを連れていく「おんぶ取材」や父子ライフを楽しむ等身大の育児体験記の情報発信は、取材先や同業者への意識付けにつながり、読者からはロールモデルとして共感を得ている。また、その体験から見えてきた、同じ事をしても性差で評価が変わるという潜在的な男女の役割分担意識課題の解決に積極的に取組もうとしている。



北川 ひかり

職業等/ハンドメイド作家、
(株)フムフム代表取締役



表彰理由
ハンドメイドを通して人材育成や地域活性化など社会に貢献するイクボス!

ハンドメイド作家兼経営者として、個々のハンドメイド作家の組織化や、他に類を見ないワークショップスタイルなど、モノづくりを通じて地域の活性化に貢献。また、母として自身のワーク・ライフ・バランスを実現しつつ、これまでの経験から得たノウハウを惜しみなく注ぎ、作家の生活環境やスタイルに合わせたアドバイスやキャリア支援など、発掘から開業までのサポートに注力した新たな創業モデルを構築。作家の育成とマネジメントを両立させている姿勢は、イクボスそのもの。さらに今後は、インターネットを活用した支援など、作家の活躍の場を広げる活動を加速させている。





北九州市 女性活躍 WLB表彰

受賞者一覧



第1回 平成19年度	団体部門	賞状賞	医療法人財団 はまゆう会 新王子病院 株式会社クリーム 社会福祉法人 南風会 ヘルシーハイム 株式会社三井ハイテック 医療法人 寿芳会 芳野病院
		奨励賞	北九州商工会議所 女性会
個人部門	賞状賞	高橋 素子(三萩野病院)	
	奨励賞	緒方 有為子(福祉用具プラザ北九州)	

第2回 平成20年度	団体部門	賞状賞	医療法人 真鶴会 小倉第一病院 社会医療法人 製鉄記念八幡病院(旧 新日鐵八幡記念病院) 株式会社安川電機 社会福祉法人 容風会 総合福祉施設 おきなのだ 日本コンピュータ株式会社
		奨励賞	社会福祉法人 西日本至福会
個人部門	賞状賞	杉井 千香(株式会社安川電機)	
	奨励賞	本山 晴子(北九州ワーキングマザーネットワーク)	

第3回 平成21年度	団体部門	賞状賞	社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成会 株式会社新菱
		奨励賞	コンダクト株式会社 株式会社不動産中央情報センター
個人部門	賞状賞	藤田 淳子・修一夫妻(有限会社ゼムケンサービス)	

第4回 平成22年度	団体部門	賞状賞	独立行政法人 地域支那開発促進機構九州支所(旧 九州厚生年金事務所) 富士通コミュニケーションサービス株式会社 北九州サポートセンター 社会福祉法人 敬寿会 美咲ヶ丘
		奨励賞	杉 信市(杉建築設計事務所)
個人部門	賞状賞	松井 真理子(医療法人真鶴会 小倉第一病院)	

第5回 平成23年度	団体部門	賞状賞	有限会社ゼムケンサービス 社会福祉法人 恩賜財団済生会 済生会八幡総合病院 社会福祉法人 北九州あゆみの会
		奨励賞	荒木 晴美(TOTO株式会社)
個人部門	賞状賞	川原 英明(北九州農業協同組合)	

第6回 平成21年度	団体部門	賞状賞	株式会社ソルネット 株式会社陽和
		奨励賞	株式会社ゴトウ 時計・宝石・めがねのヨシダ
個人部門	賞状賞	伊藤 初江(新日鐵住工エンジニアリング株式会社)	
	奨励賞	杉井 隆造(株式会社安川電機) 有馬 広海(済生会八幡総合病院) 南 充子(北九州ヘルバーステーション) 元重 香代(住宅設備施工会社)	

第7回 平成25年度	団体部門	賞状賞	みずほ証券株式会社 北九州支店 山九株式会社 プラント事業部 学校法人清風学園 清和幼稚園 株式会社不動産のデパートひろた
		奨励賞	郷田 郁子(株式会社ヴィンテージ)
個人部門	賞状賞	郷田 郁子(株式会社ヴィンテージ)	

第8回 平成26年度	団体部門	賞状賞	社会福祉法人 龍玉会 洗心保育園 社会福祉法人 もやい聖友会 株式会社 北九州銀行
		奨励賞	森 豪(食品等卸会社) 篠原 艶子(大門薬品)
個人部門	賞状賞	篠原 艶子(大門薬品)	

第9回 平成27年度	団体部門	賞状賞	株式会社ウキシロケアセンター 株式会社スターフライヤー 三菱化学株式会社 黒崎事業所
		奨励賞	湯 澤元(中屋興産株式会社)
個人部門	賞状賞	湯 澤元(中屋興産株式会社)	

第10回 平成28年度	団体部門	賞状賞	セレーノ株式会社 日本鉄塔工業株式会社若松工場 計測検査株式会社 株式会社安川ロジステック
		奨励賞	大谷 竜也(小倉経済新聞編集長) 北川 ひかり(株式会社フムフム)
個人部門	賞状賞	大谷 竜也(小倉経済新聞編集長) 北川 ひかり(株式会社フムフム)	

(敬称略)

「北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰」は第11回より名称が変わりました。

第11回 北九州市 女性活躍・ワークライフバランス 表彰



性別・職域ボーダーレス!
働く喜びを感じながら
ライフも充実できる社会へ



北九州市 総務局女性の輝く社会推進室 女性活躍推進課 共催：北九州商工会議所
〒803-8501 北九州市小倉北区内1-1

☎093-582-2209

北九州市女性活躍WLB表彰



この印刷物は 印刷用の紙へ
リサイクルできます。

北九州市印刷物登録番号第1707027C号

平成29年度
北九州市 総務局
女性の輝く社会推進室



ワーク・ライフ・バランスは、人生に彩りと豊かさをもたらします。

やりがいや充実感を感じながら働き、子育てや介護、そんな調和の取れた生活を推進・実践してい

自己啓発の時間、地域との関わりも持てる。そんな調和の取れた生活を推進・実践している企業・団体や個人を表彰しました。



西部ガス株式会社 北九州支社 企業・団体部門 市長賞



執行役員北九州支社長/山口 幸之助
所在地/小倉北区愛宕 1-5-10
業種/ガス業
従業員数/262人(うち女性27人)

継続する意志と「血の通った現場目線の取組み」で着実に成果を積み上げている

トップを中心とした改革マインドが現場の管理職まで浸透。部下と上司がコミュニケーションを重視しながら、全社員が一丸となり血の通った組織となるべく取り組むことで、世代や性別を問わず働きやすい



職場環境の醸成につながっている。毎月の「時間外の見積り」とその実績のフィードバックという地道な改善を、コツコツと複数年にわたり実施し続け、着実に成果につなげたことは、業界を問わず汎用性、かつ波及性がある取組みと評価できる。また、北九州支社は、従前から他業界との競争環境の中で培ってきた慣習を積み重ねたことで、女性活躍の風土を醸成。女性グループの活躍や女性管理職の輩出などロールモデルとなりうる人材も育ており、更なる波及効果が期待できる。

学校法人ひかり学園 曾根ひかり幼稚園 企業・団体部門 市長賞



園長/藤原 美登里
所在地/小倉南区中曾根 1-7-1
業種/幼稚園
従業員数/21人(うち女性17人)

ワークシェアリングによる業務の見える化など、きめ細かな効率化で一人集中体制を打開

担任業務を持たない補助を専門とする職員を増員し、業務を切り分けながら分担する「ワークシェアリング」を実施。補助職員を含めて業務内容や連絡事項の可視化・共有化を図ることにより、チームによる業務改善につなげ、職員個人の肉体的・精神的負担軽減、時間外削減、定時退園などを実現。トップが、職員の働く環境の在り方とその重要性を認識したうえで、利用者である保護者とも丁寧に意見交換を行いながら、双方のニーズを踏まえた改善につなげている。



特徴的な取組み内容



- ・毎月の「労働時間外見積り」による業務割当てとプロセスの着実な見直しにより時間外労働時間を25%削減
- ・妊娠がわかってから復職後までのサポートとして、本人、上司に人事担当を加えた面談を体系的に複数回行う「ママリターンプログラム」の実施
- ・販売促進勉強会など北九州支社の女性グループプロジェクトをモデルにして展開

株式会社 ソル 企業・団体部門 奨励賞



代表取締役/道下 広次
所在地/小倉北区西浜町 84-7
業種/運送業
従業員数/60人(うち女性7人)

女性活躍が「人材確保・意識改革・働きやすい職場づくり」のキーワード。だれもが働きやすい会社づくりを実践中

人材不足が顕著な課題となっている運送業界において、性別を問わず、人材の確保・定着できる会社にしていきたいという思いから、業界においては革新的な取組みを柔軟な発想のもと展開。ドライバーを



※国土交通省が、女性トラックドライバーを「トラガール」と名付け、トラック運送業界における女性活躍を促進中。

含む女性社員の割合を3年以内に2割引き上げることを目標に掲げ、「トラガール[※]」をはじめとした女性社員の積極的な採用・活躍を軸に、だれもが働きやすく活躍できる職場づくりを実践。社長自ら、一人ひとりの労働時間、拘束時間を毎日把握し、クライアント先へ契約解除も視野に労働環境の改善を促すなど、社員の安全と健康のために労務管理を徹底。業界における女性の新たな就業や活躍など、従来の男性主体の業界イメージを刷新することに躍進している。

特徴的な取組み内容



- ・ワークシェアリングを柱としたチーム運営で業務の可視化・共有化を図り、定時退園を実現
- ・繁忙期の時間外勤務における労務管理と生産性向上の工夫として、時間外業務を職員室で集合実施
- ・半日休暇制度など、働く側であり、預ける側でもある自園のママさん職員の意見を取組みに反映

橋本 和宏 個人部門 奨励賞



職業種/経営コンサルタント
(プレイヤーズオフィス太陽と月代表)

自身の経験に裏打ちされた「ワーク・ライフ・フィット」をモットーに多方面で情報発信!

ワーク・ライフ・フィットとは、「ありたい自分、生きたい人生と仕事の中身がいかに調和しているか、合っているか」ということ。自身の経験をもとに生み出した造語「ワーク・ライフ・フィット」をモットーに、自身の働き方を追及し、会社経営者を礎で、経営コンサルタントとして独立。現在は、女性起業家の支援に注力する一方で、ラジオパーソナリティとしても活動。ワーク・ライフ・バランス、女性活躍、働き方改革などのトピックにこだわり、これまでの経験を踏まえ、普段関心のない幅広い層への関心に繋げるため、産・学・官・芸、各界からの様々なゲスト

や関連イベントの紹介などを発信。自分にできること、したいことを探求しながら、そこから見えてきた働き方改革という、社会的課題の解消に対しても積極的にかかわろうとしている。転職へと背中を押してくれた良き理解者である妻と毎日のコミュニケーションを欠かさず、3人の子育てに奮闘しながら、助け合いの精神で人生を楽しんでいる。



特徴的な取組み内容



- ・女性営業職や「トラガール(女性ドライバー)」の採用・活躍を契機に、女性活躍を軸とした人材確保と業界イメージ改革の推進
- ・女性目線にシフトした営業スタイルで、女性の職域を拡大
- ・小型車の積極導入や女性目線の職場環境、業務改善を図ることで、世代や性別を問わない働きやすさを追及
- ・女性が参画することにより、女性ならではの仕事に対する丁寧さ、きめ細かさなどが、男性にも広がることで、男性社員の意識変化にもつながっている

仕事と生活の調和の実現は、一人ひとりが望む生き方ができる社会の実現にとって必要不可欠です。

事業の総行

少子高齢社会において、子どもを産み育て、男女がともに働く喜びを感じることができるといえる社会の実現は、企業、働く人、市民、行政が協働して取り組むべき重要な課題です。そこで、女性の職業生活における活躍や、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業・団体、個人を表彰し、その取組内容を広く皆様に情報提供します。

ワーク・ライフ・バランスが実現できない状態とは

仕事に追われ、心身の疲労から健康を悪くし、仕事と子育てや介護との両立に悩み、など仕事と生活の調和で問題を抱えている状態のことです。

ワーク・ライフ・バランスが実現できる状態とは

誰かがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭・地域・自己啓発等における個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができる状態のことです。